

事業名

**地域の宝を育てる応援団 -SAKURA ネットワーク-**

目標

**～15歳の春に豊かな花を咲かせるための協働～**

## 1. 取組の視点

全ての幼児・児童・生徒に15年間の連続した「学び」を保障するために、地域の力を活用しながら学校園の教育活動を支援します。また、学校園を核とした地域コミュニティの活性化と、地域の教育力を高めるための協働をより一層進めます。

## 2. 取組の概要

**【SAKURA 夢フェスタ 2nd】**

平成23年12月4日(日)に都南中学校区の11学校園の園児・児童・生徒とその保護者が集まり、学校支援ボランティアの手による地域合同行事を開催しました。この日は、都南中学校2年生の



職場体験報告会があり公開授業も実施されたため、昨年にも増して多くの方の参

加がありました。オープニングセレモニーでの

奈良朱雀高校和太鼓部「秋篠」の勇壮な演奏から始まり、午後は、都南中学校吹奏楽部と4中学校の吹奏楽部の合同演奏会が行われました。



最後は、恒例になった5小学校区別対抗の綱引き大会も行われ、小学校(男女別)の部、中学校(男女別)の部、一般の部毎での対戦がありました。SAKURA ネットワークのコーディネーターが実行委員会を組織し、行事の企画から当日の運営

に当たりました。開催までの綿密で周到な準備と万全の救護体制で安心してフェスタは進んでいきました。

**【地域みんなの美術館「都南の森」】**

地域住民の手による芸術作品(絵画・書・ちぎり絵・陶芸・彫刻・写真など)を募集展示し、生徒・保護者そして地域住民に鑑賞していただいています。展示内容の企画から作品募集、そして開催中のお世話まで、すべて「楽芸員(学校支援ボランティア)」による運営がなされています。



中学校の昇降口を活用したフロアスペースをギャラリーとして開放して、地域住民の“財産”であるべき学校を地域に開き、地域と学校が一体となって「よりよい学校づくり」を進めるための特色のある取組となっています。

## 3. 成果と課題

校区の5幼稚園・5小学校・中学校の各学校園と地域との協働により、子どもたちの「15年間の連続した学びの保障」を図り、自分の生まれ育った地域を誇りに感じ、地域を愛し、地域の役に立てる人間の育成を目標に支援活動を進めています。今後も、地域コミュニティの核としての学校園の存在を地域全体で再認識し、家庭や地域の教育力を高めていく取組の充実と、「協働の営み」の中心となり、各校園間の連携や地域のボランティアと学校園との橋渡し役としてコーディネーターが有機的に機能することをめざします。

事業名

**学びと心身を育む夢共育の実現**

目 標

**学び合い、高め合う学級集団を礎とした「新しい学びのスタイル」の定着と、基本的生活習慣の確立と体力向上および規範意識の向上をめざす。**

## 1. 取組の視点

全教科において、指導法の研修や教材研究、授業研究等をとおして、授業力向上を図る。新しい「学びのスタイル」での授業を展開し、学力向上を目指します。校区小学校と連携し、児童・生徒の9年間の連続した学びを保障するための具体的な取組を進めます。コミュニティー・スクールとして地域との連携を強化し、学校運営の改善を図ります。地域教育協議会等を活用し、学校に地域の力を導入すると共に、保護者・地域の教育力を高めます。

## 2. 取組の概要

- ① 確かな学力を育む授業力の向上
- ② 個に応じた細やかな指導法の確立を
- ③ 家庭学習支援の充実
- ④ 「全国学力学習状況調査」等の結果の活用
- ⑤ 都南中学校区地域教育協議会の活性化
- ⑥ 都南中学校学校運営協議会の活用
- ⑦ 「授業評価」「Hyper-QU」の実施
- ⑧ 「学習の手引き」配付
- ⑨ 「中学校区学力向上推進委員会」を中心にした小中連携の一層の充実



SAKURA ネットワーク（都南中学校区地域教育協議会）とコミュニティー・スクール委員会（都南中学校学校運営協議会）との連携を強化すること

により、学習環境整備や学校行事の運営において支援を受けることが増えました。

地域教育強化プロジェクトに参加し、生徒会を中心に地域の食材を使った「都南カレー」の開発



をし、今年度も柿入りの「都南カレー」を販売しました。上の写真は、12月4日のSAKURA 夢フェスタでの「都南カレー」の販売の様子です。

SAKURA 夢フェスタも2年目を迎え、今年度は2年生の職場体験発表会と公開授業を同時に行いました。また、小中連携に向けた準備として小学校との合同研修会も計画的に実施できました。

## 3. 成果と課題

計画的に研修や実践交流を組み入れてきたが、系統だった運営になりきっていない部分が見えてきました。そのため、実践力に結びついていない実態も現れて生きている現状です。

地域との連携においては多くの支援をいただいているが、教員・生徒が気づけていないことも多く、広報・情報発信を工夫し学校の取組や必要としている支援に関して広く知ってもらうことが課題です。そのためにも、コミュニティー・ルームの開設し、支援が見える形になること、地域の方同士のみならず、教師、生徒と地域の方の交流の場をつくることをめざしていきたいです。

事業名

**「子ども力」育成プロジェクト**

目標

**関わり合いを通して豊かな学びを育む****1. 取組の視点**

本校では、学習規律の確立に向けた取組とともに、基礎・基本の習得を中心に研究を進めてきましたが、依然厳しい学力実態があります。また、自尊心について、自己肯定感の低さが目立っているという実態が調査結果からも見られました。テーマにある「子ども力」とは、未来に向けての夢やあこがれを持って、その子なりに発揮できる力です。そこで、取組の視点を、「多くの人たちとの関わり合いを通して、学校や地域の生活や活動の中で育てられるような事業の計画・活動を通して、自分に自信を持ち、将来に向けての希望をもって生き活きと活動できる子を育てていきたい。」と考えました。

**2. 取組の概要**

地域・学校が協働し、子どもたちが多くの人たちと関わり合いをもち「熱中する力」「好奇心を抱く力」の育成を進めるため以下の事業を計画し、地域とともに取り組みを進めました。

**(1) 東市まるごと子ども合宿や子どもフェスタ・放課後子ども教室の開催**

子どもたちの健全育成を目指して、校区社会福祉協議会が中心となり、PTA はじめ多くの団体が参加し、10月21日に小学校で開催し多くの児童保護者が参加しました。

**(2) 校内環境整備計画**

昨年度より花壇の整備や花いっぱい運動を計画し地域の方々にも協力していただき

ました。今年度は、校舎内の廊下の塗装も汚れが目立ってきていましたので、ペンキ塗りにも協力をお願いし真新しい校舎に変身しました。

**(3) 学力向上に向けた授業作り研修**

校内研修を持ち、集団作りについての研修をはじめ、言語活動の充実を図る授業の研修、キャリア教育の研修など深め「学校公開」を通じ地域の方々へ広めました。

**(4) 教育活動への地域ボランティアの参加**

読書(読み聞かせ)活動として11月に「絵本のひろば」を開催し、絵本ボランティアさんと共に楽しく読書の時間を過ごしました。また、万年青年クラブのみなさんは「昔遊びの名人さん」として、コマ回しや竹馬、あやとり遊びを子どもたちに教えて下さいました。

**3. 成果と課題**

学校地域支援本部や東市小学校運営委員会において話し合いを持ち、学校と地域との連携・協働による事業計画を立て実施し、数多くの計画に地域の方々も参画してくださいました。しかし、参加して下さるボランティアの方々も広がりにくい現状もあります。今後は、多くの方々も参加できる事業の広報活動の展開や人材バンクの作成を考えていく必要があると考えます。



事業名

## 今日が楽しくて、明日が待ち遠しい学校

目標

楽しそう（予感）楽しい（体感）楽しかった（実感）という連続性のある教育活動を地域とともに構築し、自尊感情の醸成を図る。

### 1. 取組の視点

本校が掲げる理想の学校像の達成には、楽しそう（予感）楽しい（体感）楽しかった（実感）の連続性のある教育活動の展開が不可欠であると考えます。そこで、本校では「楽しい」を『楽楽しい（たのたのしい）』と『苦楽しい（くるたのしい）』の二つに分類できると考えました。特に後者の感情は、他者との良好な関係性において育つものであると定義しました。幸い、本校区には学校を支援しようという志をお持ちの住民が多いことから、地域住民とのかかわりを中心とした教育活動を進めることとしました。

### 2. 取組の概要

本校では、すでにこれまで事業を通して、地域住民や保護者ボランティアが協働して子育て支援や学校支援を行う風土を備え、地域の会合などで、折に触れ『子どもは辰市の宝』であると話題にのぼります。このような住民意識を背景に、これまで継続的に実施されてきた事業を大切にしながら、学校・地域・保護者が思い描く理想の子ども像に向けて歩を同じくしました。



取組は、子どもの命を大切にすること、教育環境（ハード面）の改善、学習への支援の三つに大別し実施しました。

子どもの命を大切にすること、毎日の登下校における見守り活動を中心に、年度初めに

は、新入生の下校付添活動、青色パトロールによる巡視活動などを実施しました。

教育環境の改善に向けては、通年的実施する植栽活動と掲示物の作成、夏季休業中に行ったペンキ塗り作業を計画し実施しました。

学習支援では、家庭科（運針指導、調理実習）などの補助や社会科・生活科（昔の農業体験や昔遊び）学校行事（千本餅つき、健康かけ足立哨）などにゲストティーチャーとして参加していただきました。また、絵本の読み聞かせも継続して取り組んでいただきました。

### 3. 成果と課題

良識ある地域住民の積極的な参加は、成果として、教育活動が円滑に且つ効率的に展開できたことだけに留まらず、植栽や掲示物の作成を一緒にするなど、ボランティア・児童相互に活力が漲り、積極性が育まれたように思われます。2月末には、地域の方々には1年間のお礼をしようということで、「ありがとう集会」を実施しました。児童手作りの品が、各ボランティアの手に渡り、これまで以上に心の交流が図られたように思えます。もちろん、地域の方々には、次年度に向けてのエネルギーとなったことを申し添え報告します。



【ボランティアと子どもたちの共同制作】

事業名

## やさしく、かしこく、力もちの明治っ子

目標

”花・おはなし・元気” いっぱいの学校で「学力(算数、外国語活動等)・読書意欲・体力の向上」を目指す。

### 1. 取組の視点

地域の方・教職員・児童が「花いっぱい運動」をはじめとする諸活動に取り組み、潤いのある学校環境の整備に努め、「学力(算数、外国語活動等)・読書意欲・体力の向上」を目指してきました。



#### (1) 児童主体の図書館運営

学校図書データベース化(22年秋)により、児童主体の管理・運営が円滑に実施できつつあり、児童の読書意欲向上にも効果的です。



#### (2) 学力向上(算数、外国語活動等)の取組

基本的な教材を購入したり自作したりして学習環境を整備しつつ、それらを活用した日常的な指導力向上に繋がる研修等に取り組みます。



#### (3) 体育や外遊びの充実による体力向上

運動好きだが、持久力など体力面で課題が多い実態から、発達段階に応じた継続的な運動を工夫したり、必要な器具を準備したりして体力向上に繋がります。



習に取り組むためには、落ち着いた潤いのある学校環境の整備を、より一層充実させなければなりません。

#### おはなし いっぱいの学校

日常的に蔵書の計画的な整理作業を行い、今年度は教員の指導の下、パソコンでの管理(貸し出し、読書傾向把握等)を進め、児童も操作できるようになってきました。

また、地域の方を講師にした第1・3月曜日に行う「おはなしの会」や低学年での「読みきかせ」は、児童の聞く力(姿勢)や想像力を高め、「次は、どんな話が聞けるのかな。」という読書意欲の向上に繋がっています。さらに、地域の方と定期的にふれあうことで、コミュニケーション力や人に優しい心の育成も期待できます。今後も、明治っ子の心の基盤づくりに努めていきます。



#### 元気いっぱいの学校

地域の方と共に、昨年度、更新作業をした運動場のランニングコースは、体力づくりの基盤となっています。十分に用意された長縄やドッジボール等は学習や外遊びで活用しています。



### 2. 取組の概要

#### 花いっぱい学校

今年度も地域の方や教職員、児童が主体的に環境整備に関わっていくため、「花いっぱい学校」を目指して取り組んでいます。児童が集中して学

### 3. 成果と課題

- 「学力(算数、外国語活動等)・読書意欲・体力の向上」の計画を9割程度実施できました。
- 地域力(人、物、行事等)の有効活用を工夫し、ハード・ソフトを一層充実させます。

事業名

## 地域と共に、スクスク育て帯解っ子

目標

地域と連携し、21世紀を自主的・創造的に拓いていく

心身共にたくましい帯解っ子を育成する。

### 1. 取組の視点

本校は地域の方々の学校への感心も高く、学校教育に対して協力的な方が多数おられます。学習活動の中に地域学習を組み込み、米・野菜・花などの栽培活動や、平和・人権・福祉などの聞き取り学習を通して、多くのことを学んでいます。地域の方々をゲストティーチャーとして招き、地域について色々なことを学び、思いやりのある豊かな心を持つ帯解っ子を育成したいです。



豊かな思いやりのある児童を育てるために、いちご・野菜・米・花を学級園・借り上げた田や畑・校内の各所で栽培し、物を作る苦労や収穫の喜びを体験しました。また園児と共に、校章の水仙植えや餅つき大会などをして交流を深めています。

### 2. 取組の概要

本校区には学校教育に対して協力的で、児童を地域の宝と考えるくださる方々がたくさんおられます。学習活動の中に地域学習を組み込み、地域の方々をゲストティーチャーとして招き、地域について色々なことを学び、帯解文化の花を児童の心に咲かせていきたいと考えています。

目標達成のために、地域の人との交流活動に取り組んできました。敬老会や一人暮らしの高齢者の方に花の苗とメッセージカードをプレゼントに送りました。また戦争体験・盲導犬・車椅子・在日外国人の方など様々な方をゲストティーチャーに招き、平和の大切さや障がいを持たされた方の苦労や願いを聞きました。そして、本物に触

れることが教育の原点と考え、日曜参観に劇団民芸座に来てもらい、児童・保護者・地域の方々に



照明や効果音等の本格的な生の芝居を観劇しました。子役として出演した児童からは、「緊張せずに、台詞を間違えずに言えてよかった。よい思い出になった。」と体感した感想を述べていました。このように、質の高い芸術に触れ、豊かな感性を育み視野を広げることができました。また、野菜を育てる事は食育教育の一環としての成果があり、一人一鉢運動で花や野菜を育てることで、しっかり観察して大切に思う心が育ち、豊かな感性を育てることに大いに役立ちました。

### 3. 成果と課題

地域の様々な方との交流活動は、児童にとって知見と多くの人とのつながりを広げ、豊かな感性を育てることになりました。また栽培活動を通して、花や野菜をしっかり観察し大切に思う心が育ってきました。芽が出たことを楽しみ、花が咲いたことを素直に喜べる感性を育てています。教育活動の様々な場面で、地域の方々に支えられながら児童は育っています。このように学校だけではできない取り組みに参加や協力して頂くことで、児童の学びはさらに深まります。地域の方々の気持ちに応え、前向きに実践していきたいです。

事業名

**輝け 精華の子**

目 標

**基礎学力の充実とさまざまな出合いや体験を通して、仲間を大切にし、地域を愛する豊かな心を育てる**

## 1. 取組の視点

精華小学校は、全校児童 22 人の小規模校です。日頃から学校生活のあらゆる場面で縦割り活動を取り入れ、異年齢の集団の中で人間関係を築く取組をしています。学校行事、児童会活動などで自分の意見を述べる場、他校と交流をする場、地域の方々からいろいろな事を教えていただく場など、さまざまな体験ができるよう計画しました。その中でコミュニケーション力や自己表現力を育てるとともに、多くの人々との出合いを通して、仲間を大切にし、地域を愛する豊かな心を育てていきたいと考えました。

## 2. 取組の概要

7 月には、書店の方に来ていただき、本に親しむ会を開きました。たくさんの中から児童が興味を持った本を選び、図書室で楽しく読みました。

10 月下旬には精華劇場パート I としてオペラ「源氏幻想 物語 源氏への誘い」を



開催しました。今年度は校区にお住まいの世界的に有名なオペラの指揮者の方にお世話になり、十数名のオペラ歌手と十数名の合唱隊の方に来て頂きました。迫力のある歌や動きに感動すると共に、源氏物語の世界に引き込まれたひとときでした。

11 月には、恒例の干柿作りをしました。地域の万年青年クラブの方々にナイフの使い方や柿の

皮のむき方を教えていただき、一緒に約 6,000 個の皮をむきました。むいた柿を 10 個ずつ串に刺して、各教室の窓の外に干し、12 月中旬に、精華地区の全戸に子どもの手紙と共に配りました。今年、暖かい日が続いたため、カビが生えないか、腐らないかをずいぶん心配しましたが、本当に良い出来映えに、地域の方々に喜んでもらいました。

2 月には卒業を祝う茶会を地域でお世話になった方々を招待して開きました。



日本の伝統的なお茶を通して、おもてなしの心、心配り、感謝する心など「お茶の心」を地域におられる茶道の先生方に教えていただきました。午後は教えていただいた作法で、6 年生が点てたお茶を下級生やお世話になった先生方や職員の方々に味わってもらいました。

## 3. 成果と課題

地域の方々にたくさんのことを教えていただく中で、地域のよさに気づき、自然や伝統を大切に守っていこうとする気持ちが強く感じられるようになってきました。出合いを通して、自分の思いを自分の言葉で伝えることができるようになってきています。今後もさまざまな体験を通して、児童の豊かな心を育てる取り組みを続けたいと思います。他校生との交流が少なかつたため、次年度は仲間と交流することの楽しさを味わわせたいと思います。

事業名

## 地域とともに、いきいきかがやく、東市の星

目標

地域の方々とのふれあいの中で、進んで活動し、たくましく生きる力を育む

### 1. 取組の視点

本園は、田畑・森林が広がる自然豊かな地域にあり、年少6名・年長6名・計12名という家庭的な雰囲気です。子どもたちはのびのびと過ごし、一人一人の思いを受け止め、個に応じたきめ細かな保育を行っています。しかし、日頃から限られた人数の中で生活しているのでコミュニケーション力が弱く、多人数に圧倒され萎縮してしまう場面も見られます。地域の方や他園との交流、未就園児との交流や活動を通して、心豊かで、強くたくましく生きる園児を育むようにしました。

### 2. 取組の概要

#### ①地域の方々との交流

ふれあいサロン・夏祭り・東市子どもまるごとフェスタ・敬老会・人権文化センター人権フェスタなどの地域行事への参加や美化の日・七夕集会・運動会・園内作品展・もちつき大会・生活発表会・ひな祭集会などの園行事への地域の方々の



参加、地域の畑をお借りしてのサツマイモ植えや柿狩りなど、

いろいろな活動を通して様々な人との心温まるふれあいの場を多くもちました。

#### ②未就園児との交流



地域の方々の支援のもと、未就園児の親子登園

「ひよこ組」を通じて、保護者・地域・未就園児・幼稚園との幅広い交流の場を作り、親睦を深め、園児の体験活動と子育て支援の充実を図りました。毎回、地域の方による絵本読み聞かせを実施、聞く力や情感を育むようにしました。「玩具で遊ぼう会」では、在園児・ひよこ組・近隣園の親子と一緒に遊び、子育ての講演を聞き、楽しい充実した一日となり好評を得ることができました。

#### ③環境美化活動

心優しく、豊かな想像力を培うためには環境美化が大切と考え、施設設備の改修・ペンキ塗り・花壇作りを地域の方や保護者の力を借りて行いました。園内施設は安全に色彩豊かに設備され、四季折々の花が咲き清掃され整った園庭では元

気いっぱい遊ぶ子ども声が聞かれ、未就園児にも園庭開放をし



て地域に開かれた園になるよう努めました。

### 3. 成果と課題

地域の方々とのふれあいを通して、見守られているという安心感や自分から挨拶をしよう、かかわろうとする姿が見られ、進んで活動し、たくましく生きる力を育むことができました。また、未就園児の親子登園を通じて、在園児と一緒に遊び相手を思いやる優しい心や自信となり、園内の活性化や地域の交流の場となりました。整った環境で、感性豊かな園児の育成に努めることができました。今後、より充実した子育て支援となるように未就園児保育の内容を見直し、地域の方との有意義な交流を継続しながら、近隣園とも計画的に交流し遊びの充実につなげたいと考えます。

事業名

## みんなの笑顔がつながる幼稚園

目標

親子の愛着形成を確かなものにし、心豊かな幼児の育成を目指す

### 1. 取組の視点

核家族化が進む中、本園でもわが子の心身ともに健全な成長を強く願いながらも、子育てに戸惑ったり自信が持てなかったりして、気持ちや心にゆとりを持ってない生活を送っている保護者が少なくありません

そこで、親子ともに地域の人との活動や、親子活動を通して親子愛着形成を確かなものにするとともに、地域や周りの人たちと親しみや信頼の気持ちで互いにつながり、幼児の心も豊かに育つことを願い、本事業に取り組みました。

### 2. 取組の概要

みんながつながる環境づくりとして、年少組の親子活動では“リースづくり”を行い、家庭でのクリスマスに色を添えました。年長組の“絵本づくり”では親子で楽しく会話しながら世界で一つの絵本を作り上げ、作品は園内作品展に展示しました。



また、年少、年長共通の親子活動として、各学級月1回“親子絵本の日”や、年2回“お話の会”を行ったり、花壇に来春開花する花の苗や

球根植えを行ったりしました。こうした活動を重ねることで、親子同士親しく交流する姿が見られるようになりました。11月の土曜参観では年少は木工制作、年長は油粘土細工で“親子制作”を行いました。この制作では、父親や兄弟姉妹も参加し、家族全員でそれぞれの制作に取り組んでいる姿が見られました。こうした親子活動は未就園児親子登園『ひよこ組』対象においても実施し、12

月には人形劇を1月にはお話の会を、在園児と一緒に鑑賞することで、未就園児親子の園生活への期待も一層膨らみました。



地域の方との交流では、地域の民生児童委員の方との交流を『ラン

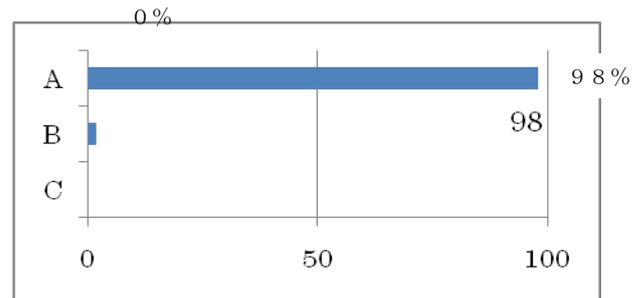
ラン広場』として年間計画に位置づけ行っています。今年度は保護者との交流の機会として、保護者地域別懇談会に民生児童委員の方の参加のもと、2回実施することができました。

また、人とのかかわりの体験はマナーの育成・向上や、幼児の豊かな心を育むための基盤づくりとなるとの考えから、身体を動かす心地よさを感じるとともに、集団の規律や友達と気持ちや力を合わせてひとつのことをやり遂げる充実感や大切さを感じる活動としてマーチングを保育に取り入れ、大きな成果として運動会で披露し、感激と感動を与えました。



### 3. 成果と課題

成果として保護者対象のアンケートから『園の行事や活動を楽しみにしている』との項目の集計結果は下記のグラフのとおりである。



A そう思う B まあそう思う C そう思わない

また、地域の方々の幼稚園教育に対する理解が一層深まり、地域の幼稚園として強い支援をいただきました。課題として、親子活動の意義を理解していても、参加することを負担に感じている保護者の姿があります。進んで参加できる活動内容の工夫が必要であり、そのためにも地域のさらなる協力を得て、園教育の一層の充実を図ってまいります。

事業名

## 手をつなごう精華の輪

目標

人・物・植物等との様々な触れ合いを通して、地域の自然や人々を愛し、自ら活動する子を育てる。

### 1. 取組の視点

園は周囲を山々や田畑に囲まれ、正暦寺や弘仁寺等の歴史的文化遺産も多くあり、四季折々の自然豊かな地域に立地しています。園児4名という少人数がゆえに、他校園との交流を深め、未就園児や地域、各種団体の方々と園行事を通して、いろいろな人々とかかわる力をつけ、心身共に健全で地域の自然や人々を愛し、主体的に活動する子どもを育てたいと、取組の視点をあげました。

- ①人・物・動植物との触れ合いを通して、自ら活動する子を育てます。
- ②多くの子ども達に出会わせ、心身を育てます。
- ③地域の自然、人々を愛する子どもを育てます。
- ④英語や絵本に親しみ、豊かな情操を培います。

### 2. 取組の概要

① 未就園児や地域の子育て支援、各種団体の方々と交流では、地域の更生保護女性会の方に『桜餅作り』を教わりました。レンジで作ったお餅の中にあんこを入れて、塩漬けした桜の葉に巻きました。園児や未就園児も簡単なので一緒に作り、みんなでおいしくいただきました。その後、『ノンタンの妹いいな』の手作り紙芝居を読んでもらい、ほんわかと温かな気持ちになりました。

また、トラックの水槽での魚釣りを親子で体験し、大きな鯛を釣って喜んでいました。

② 帯解幼や精華小との交流を通し、同年齢や異年齢の沢山の友達とダンス、バルーン、ゲームなど、少人数ではできない遊びや活動をして、集団活動を学びました。秋に園で帯解幼の園児達と身近な自然物を使ってリース作りをしました。その後、小学校の精華劇場でオペラ鑑賞『源氏物語』を、一緒に観ました。本格的な歌や衣装、舞台などに驚き、とてもきらびやかで幻想的でした。



③ 地域の方々やうさぎ組と一緒にクリスマス会をしました。腹話術やゲームを楽しんだりサンタさんからすてきなプレゼントをもらったりして楽しみました。フラダンスをみんなで踊り、その後、保護者の手作りクリスマスケーキをいただき、おいしくてとても喜んでいました。

④ 『ハローキッズ』では、定期的に関係する外国の遊びや歌、ゲームを楽しんだりして外国の絵本や英語に興味をもって親しんでいます。小学校で去年ハローキッズを体験していた1年生と一緒に、外国の遊びを楽しみ、元気に英語で歌い自己紹介や挨拶もできました。



### 3. 成果と課題

人・物・植物などとの触れ合いを通して、地域の子育て支援や各種団体の方々に多様な体験をさせてもらい、興味関心を広げ、親子で楽しさを共有でき、地域の方に親しみをもって、自らかかわろうとする力がついてきました。

他校園との交流を通して、沢山の友達とかかわる楽しさを知り、多種多様な経験や感動体験を共に積み重ねていくことで、慣れ親しみ、心身共に育ってきました。今後も、様々な人と触れ合い、自ら活動できる子どもを育てていきたいです。

事業名

**ふれあい いっぱい 辰市パワー**

目標

いろいろな人、もの、ことに会うことで感性を触発し、園児なりに考えたり、感じたりしたことを楽しむ。また、友だちや先生と一緒にいろいろな遊びを通して考えたり、工夫をしたりして育ち合えるようにする。それを家庭にも知らせ子育て支援の充実を図る。

## 1. 取組の視点

子どもたちを取り巻く環境が大きく変わっていく中、本園では、地域社会の人々の力を保育内容に位置づけ、子どもと親の育ちを地域全体で温かく支え、子どもの健やかな成長を目指しています。そのためには、それぞれの分野で活躍されている地域の方々に、園児や保護者、未就園児にも、豊かな交流を通して自他の良さや持ち味を実感し、生きる力を身につけていくことを願っています。そこで、年間を通して、『親子栽培』『安全指導・環境整備』『親子ふれあい活動』『地域ふれあい活動』など豊かな体験を通して、子育て支援の拠点とした幼稚園づくりの実現に向けて、地域の教育力を生かしつながり大切にしていきたいです。

## 2. 取組の概要

## ○栽培体験から食べる体験へ

地域の方の協力を得て、年間を通して親子栽培を実施しました。土作り、種まき、苗植えを通して生長や収穫する楽しさを育んでいます。栽培を通してのなぜだろう？不思議だな？などを感じ「食」に対する意欲そして、親子の会話のきっかけを促し、食生活の習慣・感謝の気持ちなど家庭の教育力の向上につながっています。



## ○安全指導・環境整備

地域の方と共に安全指導や園内の環境作りに取り組みました。安全指導では親子で“いかのおすし一人前”の歌と踊りで身近なものとなるような工夫がありました。地域の方に旗を持って園児の安全指導をしていただくなど一斉降園を実施しました。安全に対する意識を持続する大切さを再確認することとなりました。



## ○地域と方とのふれあい活動

・昔遊びの会では、地域の方々に紙鉄砲やくるくるスキップ、輪投げなどの遊びを教わり一緒に作りました。遊ぶ中で地域の方から大切にされていることを実感することができ、楽しいひとときを過ごすことができました。

夕涼み会では、地域の方や卒園児を招き、七夕の伝統行事にふれ、夕涼み会を実施しました。人形劇を観たり、伝統の辰市音頭を踊ったりして地域の人との輪を広げました。



地域敬老会では、辰市校区の敬老会でオープニングに参加し“ぽっとん”の曲に合わせて踊ったりお祝いをしました。おじいさんやおばあさんと握手をして心温まる会となりいっぱいワクワクする体験となりました。



昔話の会では、手作りの大型紙芝居を年間121回、地域の方に見せていただきました。優しい口調の語りを引き込まれ、毎回楽しみで次に来て下さる日を心待ちにしました。

## ○親子ふれあい活動

囲碁教室では、地域の方の協力で月2回囲碁教室を実施しました。挨拶をして始めることやルールを守りながら最後までやり抜く力やよく考える力が身につけてきています。親子で挑戦する楽しさを感じています。茶道教室では、日本の伝統文化にふれ、ゆったりとした雰囲気の中親子でお茶を点てあって礼儀やおもてなしの心を学び合いました。



## 3. 成果と課題

園児たちも保護者の方々も地域から大切にされていることを実感している。地域の方から栽培についてアドバイスをいただいています。このことは食育の活動に幅をもたせました。そして、地域の方々の協力により親子で様々な体験ができ、地域の人とのつながり、保護者同士のつながりも広がりました。今後も、このつながりを大切に、地域の教育力を生かしていけるようにしていきたいです。

**事業名** 地域と共にみんなであいふれあい育ち合い

**目標** 地域の方や地域社会と交流を深め、豊かなコミュニケーション力を培う。

地域の豊かな自然や伝統文化、建造物に触れ、自分の町を大切にする気持ちをもつ。

1. 取組の視点

当園は過小規模園で、幼児同士のかかわりの広がりが必要であると考えました。そこで、幼児の豊かなコミュニケーション力の育成をめざして、地域の方や近隣園とのかかわりを深めてきました。

- ・地域の人々や地域社会、他園、小学校、保育園との交流を通して人とかかわりを深めました。
- ・地域の方の協力によって、帯解校区の豊かな自然に触れたり、伝統的文化や建造物に触れたりする機会をもち自分の住んでいる町の良さ知り大切に思う気持ちをもてるようにしました。

2. 取組の概要

○地域の伝統文化や建造物とのかかわり

- ・帯解寺へ訪問し、学校評議員でもあるお寺の方から帯解寺について詳しく話を聞いたり、昔からの襖や建具、部屋の間取りなどに触れたりして、日本古来から大切にされていることを知る機会として取り組みました。



- ・精華幼稚園との交流で、精華校区の正暦寺の紅葉を楽しみ、都南中学校区地域教育協議会副会長のご協力により、秋の紅葉を感じながら「精進弁当」を食べる機会をもち、正暦寺のことや精進弁当について話を聞き、日本の文化に十分触れることを願って取り組みました。



○近隣園の友達とのかかわり

- ・精華幼稚園の友達と遊ぶ機会を教育課程に位置づけ、人とかかわりの広がりを願って取り組みました。さらに、都南中学校区の過小規模園東市、精華幼稚園との合同遠足や互いの行事に参加し、より多くの友達とかかわる

楽しさを味わえるようにしてきました。

○地域の方の教育力を得たかかわり

- ・幼児の遊びや生活における学びや育ちを豊かにするための環境構成の整備が必要と考え、園庭木々の剪定、用具整備等を、地域の方のボランティアで、自分の特技を活かして取り組んでいただきました。2学期始業式に美しくなった園庭をみんなで見ながらお礼の気持ちを手紙に書こうと話合い届けました。



○日本の文化や異文化を通してのかかわり

- ・地域の方の教育力により、茶道、華道、押し花を経験しました。茶道は、奈良のお水取り話から「糊こぼし」の菓子の由来を聞き、お茶の手前や作法を知る機会になりました。また、中国音楽鑑賞をする中では、中国の方に、中国の楽器や文化、食べ物について多くのことを教えていただきました。幼児からは、積極的に質問する姿がみられました。



3. 成果と課題

地域コーディネーターの方のご協力により、地域の方の多大な教育力を得ることができました。幼児数の少ない中、多くの方とのかかわることで人の思いを感じる、人に優しさをもつなど、コミュニケーション力が育ってきました。幼児も保護者も地域の方に温かく見守られていると感じることができました。このことは、人に対する信頼感をもつことにつながり、現在、地域社会とのつながりの希薄化において、まさに地域とのつながりの重要性を感じました。地域と共に育ち合えるよう、今後も取り組んでいきたいと考えます。